

Q1. 以下のうち、(OSSライセンスがある)OSSはいくつか。

Linux, Apache HTTPD, Java 8, gmail, SQLite

ア. 1 つ イ. 2 つ ウ. 3 つ エ. 4 つ

Q2. 最初のライセンスの出現順が正しいのはどれか。

ア. GPL→BSD→EPL→EPL(Eclipse Public License)

イ. BSD→EPL→GPL(GNU General Public License)

ウ. EPL→GPL→BSD(Berkeley Software Distribution License)

エ. BSD→GPL→EPL

Q3. 著作権法第一條 この法律の目的は何か。

ア. 文化の発展に寄与すること

イ. 出版社やレコード会社の権利を保護すること

ウ. 文化的所産の公正な利用を推進すること

エ. 著作者の権利を保護すること

Q4. OSSをどうするとき、ライセンス条件を満たさなければ、著作権侵害となるか。

ア. 公開 Web サイトからダウンロードするとき

イ. プログラムを実行するとき

ウ. 商用の開発プログラムとリンクするとき

エ. 自己の Web サイトに公開するとき

Q5. GNU プロジェクト(<http://www.gnu.org/gnu/thegnuproject.html>)

によると、リチャード・ストールマン氏がGNUプロジェクトを始めたきっかけとなったプログラムは何か。

ア. LISP 処理系

イ. プリントドライバ

ウ. ネットワークドライバ

エ. X Window System

Q6. ソースコードが公開されていれば変更できるが、BSD ライセンスでは最新の改変されたソースコードを入手し、さらに改変を行うことができないことがある。GNU GPL を考案したきっかけとなったそのプログラムは何か。

ア. TeX

イ. squid

ウ. Emacs

エ. vi

Q7. GPL を契約と考えると、いけない理由で妥当でないのはどれか。

ア. GPL は守る必要はないから
イ. 再頒布するとソース開示義務が発生する契約と考えると、すでに著作権侵害になるから

ウ. GPL を作成した人自身が契約法に基づかせない正当な理由があると述べているから

エ. ライセンスの本来の意味は一方的な許諾であるから

Q8. LGPL のライブラリをリンクしたアプリケーションは、ライブラリと共に頒布する場合の条件の一つに、アプリのリバースエンジニアリングの許諾がある。LGPLv2 第 6 条に記載されている、その目的は何か。

ア. ソースコードを開示しない商用アプリケーションでの利用を禁止するため

イ. リバースエンジニアリングを禁止するプログラム使用許諾契約書に反対するため

ウ. 競合製品を生みやすくし、自由な競争を促進するため

エ. 顧客自身の利用のためのライブラリの改変を許可し、またそのような改変をデバッグするため

Q9. コピーレフトの説明として妥当なのはどれか。

ア. ソース開示を条件付けるため著作権行使する手法
イ. リチャード・ストールマン氏が考案した造語

ウ. 著作権(コピーライト)に反対する意味

エ. 著作権を放棄し自由を守る概念

Q10. GPLv2 の OSS と Apache License 2.0 の OSS を改変して結合したプログラムを開発した場合、無料でもソースコードを公開してもパッケージソフトとして販売できない。その理由はどれか。

ア. GPL はいかなる条件でも販売を禁止しているため

イ. 何としても著作権侵害になるため

ウ. ソース開示必須の OSS と必須ではない OSS とでは思想的に矛盾するため

エ. GPL が Apache との結合を禁止しているため

ご意見をください。NEC プースにて解答付き用紙を引替えます。訪問相談セミナーなどご希望の方は、お名前、e-mail アドレスを

コンサルティング・サービスの社外サイト

OSSライセンス・コンプライアンス コンサルティング・サービス:

<http://jpn.nec.com/oss/osslic/>

IPコンプライアンス・ソリューション:

<http://jpn.nec.com/oss/develop.html>

